

松戸北ロータリークラブ会報

<第2360回 例会プログラム>

司会 野澤新之助副委員長

12:30	例会開始時まで各自食事	
12:50	点鐘 ロータリーソング静聴 【♪我等の生業】	大川高明会長
12:53	会長挨拶・理事会報告 幹事報告	大川高明会長 大塚精一幹事
13:00	卓話(2名)	豊島利治会員 野田亮会員
13:25	【委員会報告】 ■社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表 ■出席親睦委員会 諸事御祝	野澤新之助委員長 平田洋一委員長
13:33	点鐘	大川高明会長



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか



例 会 出 席 率 7 1 . 0 %

第2360回 例会 2022年8月24日(水)

- | | |
|--------------------------|--|
| ■国際ロータリー会長 シェンファー・E・ジョンズ | ■例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー 小倉 純夫 | ■例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」 |
| ■第13Gガバナー補佐 高橋 竜一 | ■事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 大川 高明 | ■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 大塚 精一 | ■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

<会長挨拶>

大川高明会長

皆さんこんにちは。ここ何日かは少し涼しくなった感じがします。一時35度以上に気温が続いていた時期と比べて上がっていないせいかもしれません。8月7日立秋でしたがすこしずつ秋になっていくんですね。

秋になって涼しくなったら第一回「走ろう会」を開催したいと思います。また、食欲の秋と言うことで第1回「食べよう会」も開催します。詳細は後日連絡致します。



8月20（土）奉仕プロジェクトセミナーがありました。当クラブからは柳クラブ奉仕委員長、野澤社会奉仕委員長、大塚幹事、私の四人がZOOMで参加しました。内容は

第一部 「千葉県におけるCO2削減の現状と対策」

講師 千葉県環境部次長石塚勝己様

第二部 「サステナビリティとロータリーの重要分野」

講師 ワンプラネット・カフェ

代表取締役エクベリ聡子様

第三部 「東日本大震災と私」

ロータリー希望の風奨学生 上野利恵子様

第1部では大規模なコンビナートが有る千葉県のCO2削減の取組について詳しく説明を頂きました。

第2部ではサステナビリティ（持続可能な発展）についてSDGs 17の目標、169のターゲットがロータリークラブとして取り組む課題と合致している。

第3部は小学校の時に東日本大震災という大震災・大津波に遭い父親をそのとき亡くし、その後母親も病気で亡くされたそうです。そして11年目を迎え今の心境をお話し頂きました。

内容が盛りだくさんでしたので後日、講演内容を配布しますので皆様に読んで頂こうと思います。そして会員の皆様にいろいろと感じて頂きたいと思います。

<幹事報告>

大塚精一幹事

皆さん、こんにちは。先週、8月20日に奉仕プロジェクトセミナーにズームにより参加しましたので、気になった事について報告させて頂きます。

小倉ガバナーは奉仕について、「地域のニーズを的確に把握し活動する。環境問題を重点に置き、未来の子供達により良い環境を残す、楽しみながら活動をする。」と言うような事を発言されました。

それから3人の方の講演がありました。一人目は千葉県環境生活部次長石塚勝己さんで千葉県における二酸化炭素削減の現状と対策でした。千葉県では太陽光発電で10kW以上の設置について設備費の3分の2の補助金を出す。早いもの勝ちだそうです。

二人目は株式会社ワンプラネット・カフェの(代)エクベリ聡子さんです。この方は「サステナビリティ」と言う言葉を率先し企業にアドバイスをされる仕事をされている方です。「サステナビリティ」とは「将来の世代の要求を満たしつつ現在の世代の要求も満足させるような持続可能な開発」を意味します。今はあまり馴染みのない言葉ですが将来は頻りに聞くようになると思います。

次ページへ続く

大学はラグビーで行かせてもらい、地元の東証一部上場企業に就職した事がキッカケで東京に来ることになりました。

当時の私にとって東京は「恐ろしいところ」という印象が有り、海外にでも行くような気持ちで緊張し、最後まで「行きたくない」とゴネテタことを思い出します。福岡というなれしんで大好きな友人がいる街を出ていくのが嫌でした。

東京に就職したのに会社の寮が埼玉県の浦和市でしたので関東にきて最初に住んだのは埼玉県でした。品川区五反田の勤務でしたので毎朝5：20分の電車に乗るのがとても苦痛だったことを思い出します。

千葉県には24歳の時に転勤がキッカケで来ました。当初は東京の「他にあまり関与しない」雰囲気と違い、人柄が温かく地域を大事にする千葉の雰囲気に慣れるのに時間が掛かりました。「関東の人は冷たい」という印象が大きく変わった気がします。

実は千葉県には多くの福岡県人が住んでいます。特に松戸駅周辺には福岡ゆかりのお店などが沢山あり、何となくシンパシーを感じてしまいます。いつの間にか松戸の魅力に取りつかれています。

大企業を30歳で辞め、東京の中小企業に2年勤め、会社のほぼ倒産状態を受けて独立致しました。当初はリフォーム業のみをやっていましたが様々な事情があり現在は不動産業、不動産管理業、建設業を取得して不動産の総合商社を目指し取り組んでいます。

会社は現在13期を終え14期目になります。ご縁のある松戸で大変お世話になっております。これからもこの街で頑張っていきたいと思っていますので皆様これからも宜しくお願い致します。



<親睦委員会 諸事御祝>

平田洋一委員長



廣瀬 淳一 会員

S 5 2 . 8 . 3 1

WEEKLY REPORT

- ②敬遠されても、バット、手袋、ガードルをきちんと揃えて一塁に向かう姿（最近はこの選手にも見受けられます）。
- ③子供はもちろん、誰に対しても真摯に、謙虚に対応する姿。
- ④相手バッターのバットが折れたらグラウンドキーパーより先に返してあげる神対応。
- ⑤グラウンドに小さなゴミが落ちていれば、自然に拾ってポケットにしまう姿。
- ⑥大谷選手は、茶目っ気があって、もの真似が上手だそうです。ベンチ内外でも、相手選手を含め、廻りを和ませる天性の何かを持っており、「楽しく」プレイをしている様に思われます。
- ⑦ヤンキースファンが「今日は大谷選手を見たくて球場に来ました」とコメントしている光景は、対戦相手のファンからも愛され、虜にしていると感じます。
- ⑧更に、100年以上の歴史がある大リーグのルールまで改定（投手20イニング以上登板、打者20試合以上先発出場・・1試合3打席以上）させる選手は過去に例がないように思います。…この事はアメリカの寛大さ、懐の深さも痛感させられます…。

野球の成績だけでなく人間性も話題にされるヒーローであり、実存するスーパーマンであります。
自然の行動が、彼の笑顔と目の輝きに表われています。
ご本人の並々ならぬ努力とともに、ご両親の教育・躾、どうすればこのような素晴らしい人物が育つのか聞いてみたい気がします。
彼は、日本人の宝、異次元の男です。
大谷選手には、怪我することなく「皆が仲良く、明るい世界になるよう」大願成就して戴きたく衷心よりお祈りしております。

皆さん！朝、洗顔した時に鏡に向かって5回笑いましょう！！

<卓話②>

野田亮会員

アールフィールド株式会社 代表取締役の野田 亮と申します。

私は福岡県福岡市西区という所の出身です。
室見川という一級河川と博多湾の河口付近の漁師町でした。
今でこそ観覧車やクルーザーなどが泊まるリゾート地の様な風景になっていますが私の住んでいた当時は20時を過ぎると真っ暗になる様なコンビニもない田舎でした。

当時は治安も悪く、少年犯罪日本一の地域になった事も有るそうです。

そんな土地で育ちながら、高校生の時にラグビーというスポーツに出会い高校、大学、社会人と18年間続けました。ラグビーに出会わなければ今の私は無いかもしれません。

身体も小さいですし筋肉質でもないの大したことないところでやっていたように思われがちですが、私の高校からはプロが5人、日本代表が2人選ばれる様なチームで、私は大したことはないのですが「先輩や後輩たちは」凄い選手が一杯いました。その中で高校も大学もレギュラーとして試合に出れた事は今でも誇りに思っています。



次ページへ続く

WEEKLY REPORT



将来の地球の事を考えると二酸化炭素削減の話は避けて通る事はできません。ここで特に印象に残る食肉の話がありました、鶏肉を1kg作るのに二酸化炭素は3kg排出され、同じく豚肉を1kg作るのに二酸化炭素は5-6kg排出され、牛肉を1kg作るのにはなんと二酸化炭素は23kg排出されるとの話がありました。二酸化炭素削減の観点からは、肉を食べるときは鶏肉、鶏肉よりはシーフード、シーフードよりは野菜だそうです。今は野菜だけのハンバーガーで美味しいものがあるようです。

最後の公演は「ロータリー希望の風」奨学生、上野理恵子さんの話です。上野さんは岩手県山田町の出身で現在松戸市に住んでいます。11年前、11歳の時に山田町で東日本大震災を体験し津波で父親を亡くしています。町はだいぶ復興が進んでいるが、人の心はまだ進んでいない。身の周りには家族全員が死亡した人もおり、自分より不幸な人がいる中で体験談を語ってもいいのか今まで憚っていた。「ロータリー希望の風奨学金」のお陰で他のことを心配することなく勉強することができた事への感謝を述べられた。

以上、奉仕プロジェクトセミナー参加の報告でした。



それから、幹事報告を申し上げます。

1. 22・23年度クラブ米山記念奨学委員長セミナーzoom参加のご案内が小倉ガバナーから届いています。8月29日（土）12:30~15:00
2. 米山学友会主催バーベキュー大会開催のご案内が、ロータリー米山記念奨学委員会から届いています。9月10日（土）12:30~17:00 千葉県立幕張海浜バーベキューガーデン参加費10,000円 多くの方の参加を希望されています。
3. 来週8月31日の例会は休会となります。お間違いないようお願いいたします。

<卓話①>

「笑顔・楽しく・プラス思考」

豊島利治会員

私は、これを人生訓として歩んで参りました。

最近、大リーグのロサンゼルスエンゼルスに移籍した大谷翔平選手に対して共鳴を感じる場面がありますので大谷選手について触れてみたいと思います。

移籍後3年間、膝の故障、肘の手術をして苦難の生活を強いられながらその間挫折することなく科学的トレーニングを続け、2021年にはアメリカンリーグのMVP賞を獲得し、今年には104年ぶりにベーブ・ルースの記録を更新する活躍をしております。彼の「笑顔」は、いつも廻りを楽しく、微笑ましく、和ませてくれる「天才的な好青年」です。



①自身がホームラン王争いをしている終盤に、3試合（通常12打席のうち）11四死球・申告敬遠（メジャー歴代一位）されても「大きな試合の流れの中で、死球を与えられてもしようがないと言う状況で敬遠と言うのは紳士的な作戦だと思います」と言う「プラス思考」、相手を思いやる言動はなかなかできることではありません。

次ページへ続く